

# 三角関数

## 1600. 三角関数の最大値・最小値

$0 \leq \theta < 2\pi$  のとき、

$$y = \cos^2 \theta + \sin \theta$$

の最大値と最小値を求めよ。

# 今回の学習目標

三角関数を含む最大値・最小値

- $\sin \theta, \cos \theta$  のいずれかを  $x$  に置き換える。

**例 1**

$0 \leq \theta < 2\pi$  のとき、 $y = \sin^2 \theta + \sin \theta$  の最大値と最小値、そのときの  $\theta$  の値を求めよ。



**例 1**

$0 \leq \theta < 2\pi$  のとき、 $y = \sin^2 \theta + \sin \theta$  の最大値と最小値、そのときの  $\theta$  の値を求めよ。

$x = \sin \theta$  と置き換えると、 $-1 \leq x \leq 1$



**例 1**

$0 \leq \theta < 2\pi$  のとき、 $y = \sin^2 \theta + \sin \theta$  の最大値と最小値、そのときの  $\theta$  の値を求めよ。

$x = \sin \theta$  と置き換えると、 $-1 \leq x \leq 1$

$$y = x^2 + x$$

**例 1**

$0 \leq \theta < 2\pi$  のとき、 $y = \sin^2 \theta + \sin \theta$  の最大値と最小値、そのときの  $\theta$  の値を求めよ。

$x = \sin \theta$  と置き換えると、 $-1 \leq x \leq 1$

$$y = x^2 + x + \frac{1}{4} - \frac{1}{4}$$



**例 1**

$0 \leq \theta < 2\pi$  のとき、 $y = \sin^2 \theta + \sin \theta$  の最大値と最小値、そのときの  $\theta$  の値を求めよ。

$x = \sin \theta$  と置き換えると、 $-1 \leq x \leq 1$

$$\begin{aligned} y &= x^2 + x + \frac{1}{4} - \frac{1}{4} \\ &= \left(x^2 + x + \frac{1}{4}\right) - \frac{1}{4} \end{aligned}$$



**例 1**

$0 \leq \theta < 2\pi$  のとき、 $y = \sin^2 \theta + \sin \theta$  の最大値と最小値、そのときの  $\theta$  の値を求めよ。

$x = \sin \theta$  と置き換えると、 $-1 \leq x \leq 1$

$$\begin{aligned} y &= x^2 + x + \frac{1}{4} - \frac{1}{4} \\ &= \left(x^2 + x + \frac{1}{4}\right) - \frac{1}{4} \\ &= \left(x + \frac{1}{2}\right)^2 - \frac{1}{4} \end{aligned}$$





**例 1**

$0 \leq \theta < 2\pi$  のとき、 $y = \sin^2 \theta + \sin \theta$  の最大値と最小値、そのときの  $\theta$  の値を求めよ。

$x = \sin \theta$  と置き換えると、 $-1 \leq x \leq 1$

$$y = x^2 + x + \frac{1}{4} - \frac{1}{4}$$

$$= (x^2 + x + \frac{1}{4}) - \frac{1}{4}$$

$$= (x + \frac{1}{2})^2 - \frac{1}{4}$$

頂点  $(-\frac{1}{2}, -\frac{1}{4})$ , 下に凸の 2 次関数



**例 1**

$0 \leq \theta < 2\pi$  のとき、 $y = \sin^2 \theta + \sin \theta$  の最大値と最小値、そのときの  $\theta$  の値を求めよ。

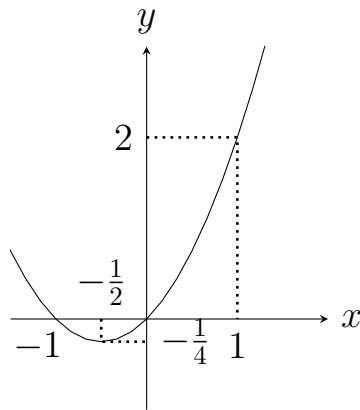
$x = \sin \theta$  と置き換えると、 $-1 \leq x \leq 1$

$$y = x^2 + x + \frac{1}{4} - \frac{1}{4}$$

$$= (x^2 + x + \frac{1}{4}) - \frac{1}{4}$$

$$= (x + \frac{1}{2})^2 - \frac{1}{4}$$

頂点  $(-\frac{1}{2}, -\frac{1}{4})$ , 下に凸の 2 次関数



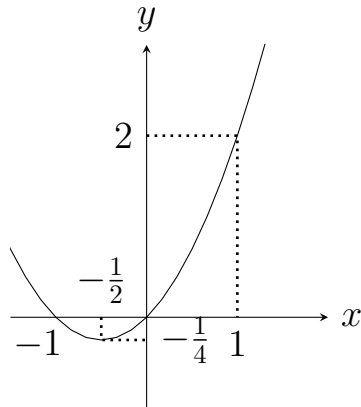
**例 1**

$0 \leq \theta < 2\pi$  のとき、 $y = \sin^2 \theta + \sin \theta$  の最大値と最小値、そのときの  $\theta$  の値を求めよ。

$x = \sin \theta$  と置き換えると、 $-1 \leq x \leq 1$

$$\begin{aligned} y &= x^2 + x + \frac{1}{4} - \frac{1}{4} \\ &= (x^2 + x + \frac{1}{4}) - \frac{1}{4} \\ &= (x + \frac{1}{2})^2 - \frac{1}{4} \end{aligned}$$

頂点  $(-\frac{1}{2}, -\frac{1}{4})$ , 下に凸の 2 次関数  
 $-1 \leq x \leq 1$  の範囲においては、



**例 1**

$0 \leq \theta < 2\pi$  のとき、 $y = \sin^2 \theta + \sin \theta$  の最大値と最小値、そのときの  $\theta$  の値を求めよ。

$x = \sin \theta$  と置き換えると、 $-1 \leq x \leq 1$

$$y = x^2 + x + \frac{1}{4} - \frac{1}{4}$$

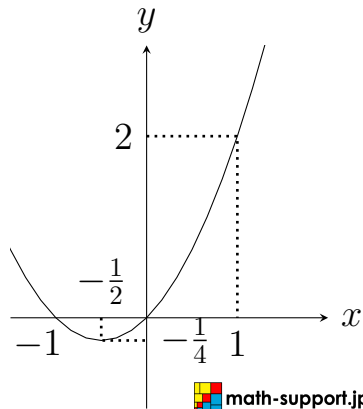
$$= (x^2 + x + \frac{1}{4}) - \frac{1}{4}$$

$$= (x + \frac{1}{2})^2 - \frac{1}{4}$$

頂点  $(-\frac{1}{2}, -\frac{1}{4})$ , 下に凸の 2 次関数

$-1 \leq x \leq 1$  の範囲においては、

$$\begin{cases} x = -\frac{1}{2} \text{ のとき、最小値 } -\frac{1}{4} \\ x = 1 \text{ のとき、最大値 } 2 \end{cases}$$



**例 1**

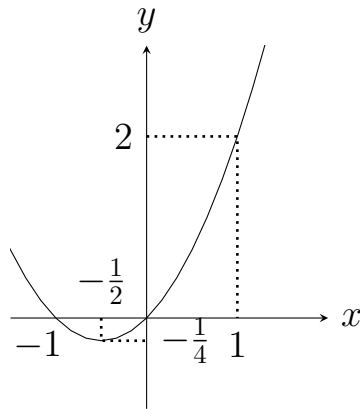
$0 \leq \theta < 2\pi$  のとき、 $y = \sin^2 \theta + \sin \theta$  の最大値と最小値、そのときの  $\theta$  の値を求めよ。

$x = \sin \theta$  と置き換えると、 $-1 \leq x \leq 1$

$-1 \leq x \leq 1$  の範囲においては、

$$\begin{cases} x = -\frac{1}{2} \text{ のとき、最小値 } -\frac{1}{4} \\ x = 1 \text{ のとき、最大値 } 2 \end{cases}$$

$$\sin \theta = -\frac{1}{2} \quad \rightarrow \quad \theta = \frac{7}{6}\pi, \frac{11}{6}\pi$$



**例 1**

$0 \leq \theta < 2\pi$  のとき、 $y = \sin^2 \theta + \sin \theta$  の最大値と最小値、そのときの  $\theta$  の値を求めよ。

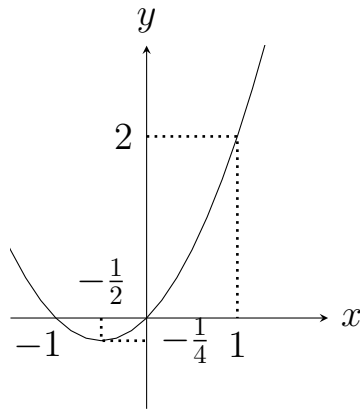
$x = \sin \theta$  と置き換えると、 $-1 \leq x \leq 1$

$-1 \leq x \leq 1$  の範囲においては、

$$\begin{cases} x = -\frac{1}{2} \text{ のとき、最小値 } -\frac{1}{4} \\ x = 1 \text{ のとき、最大値 } 2 \end{cases}$$

$$\sin \theta = -\frac{1}{2} \quad \rightarrow \quad \theta = \frac{7}{6}\pi, \frac{11}{6}\pi$$

$$\sin \theta = 1 \quad \rightarrow \quad \theta = \frac{\pi}{2}$$



**例 1**

$0 \leq \theta < 2\pi$  のとき、 $y = \sin^2 \theta + \sin \theta$  の最大値と最小値、そのときの  $\theta$  の値を求めよ。

$x = \sin \theta$  と置き換えると、 $-1 \leq x \leq 1$

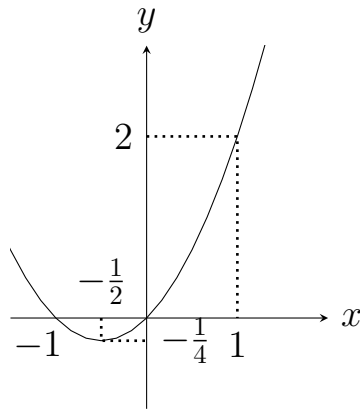
$-1 \leq x \leq 1$  の範囲においては、

$$\begin{cases} x = -\frac{1}{2} \text{ のとき、最小値 } -\frac{1}{4} \\ x = 1 \text{ のとき、最大値 } 2 \end{cases}$$

$$\sin \theta = -\frac{1}{2} \quad \rightarrow \quad \theta = \frac{7}{6}\pi, \frac{11}{6}\pi$$

$$\sin \theta = 1 \quad \rightarrow \quad \theta = \frac{\pi}{2}$$

**答**  $\theta = \frac{7}{6}\pi, \frac{11}{6}\pi$  のとき、最小値  $-\frac{1}{4}$



**例 1**

$0 \leq \theta < 2\pi$  のとき、 $y = \sin^2 \theta + \sin \theta$  の最大値と最小値、そのときの  $\theta$  の値を求めよ。

$x = \sin \theta$  と置き換えると、 $-1 \leq x \leq 1$

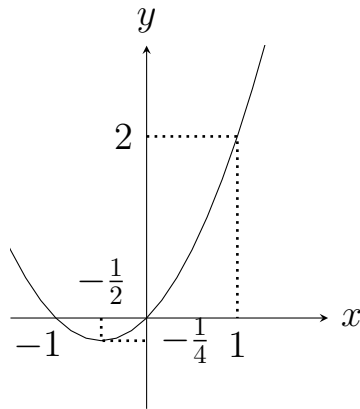
$-1 \leq x \leq 1$  の範囲においては、

$$\begin{cases} x = -\frac{1}{2} \text{ のとき、最小値 } -\frac{1}{4} \\ x = 1 \text{ のとき、最大値 } 2 \end{cases}$$

$$\sin \theta = -\frac{1}{2} \quad \rightarrow \quad \theta = \frac{7}{6}\pi, \frac{11}{6}\pi$$

$$\sin \theta = 1 \quad \rightarrow \quad \theta = \frac{\pi}{2}$$

**答**  $\theta = \frac{7}{6}\pi, \frac{11}{6}\pi$  のとき、最小値  $-\frac{1}{4}$   
 $\theta = \frac{\pi}{2}$  のとき、最大値 2





## ビデオを止めて問題を解いてみよう

問 1

$0 \leq \theta < 2\pi$  のとき、 $y = \cos^2 \theta + \sin \theta$  の最大値と最小値、そのときの  $\theta$  の値を求めよ。



## 問 1

$0 \leq \theta < 2\pi$  のとき、 $y = \cos^2 \theta + \sin \theta$  の最大値と最小値、そのときの  $\theta$  の値を求めよ。



**問 1**

$0 \leq \theta < 2\pi$  のとき、 $y = \cos^2 \theta + \sin \theta$  の最大値と最小値、そのときの  $\theta$  の値を求めよ。

$$\cos^2 \theta = 1 - \sin^2 \theta \text{ だから}$$

**問 1**

$0 \leq \theta < 2\pi$  のとき、 $y = \cos^2 \theta + \sin \theta$  の最大値と最小値、そのときの  $\theta$  の値を求めよ。

$$\cos^2 \theta = 1 - \sin^2 \theta \text{ だから}$$

$$y = -\sin^2 \theta + \sin \theta + 1$$



**問 1**

$0 \leq \theta < 2\pi$  のとき、 $y = \cos^2 \theta + \sin \theta$  の最大値と最小値、そのときの  $\theta$  の値を求めよ。

$$\cos^2 \theta = 1 - \sin^2 \theta \text{ だから}$$

$$y = -\sin^2 \theta + \sin \theta + 1$$

ここで、 $x = \sin \theta$  とすると、 $-1 \leq x \leq 1$



**問 1**

$0 \leq \theta < 2\pi$  のとき、 $y = \cos^2 \theta + \sin \theta$  の最大値と最小値、そのときの  $\theta$  の値を求めよ。

$$y = -\sin^2 \theta + \sin \theta + 1$$

ここで、 $x = \sin \theta$  とすると、 $-1 \leq x \leq 1$

$$y = -x^2 + x + 1$$



**問 1**

$0 \leq \theta < 2\pi$  のとき、 $y = \cos^2 \theta + \sin \theta$  の最大値と最小値、そのときの  $\theta$  の値を求めよ。

$$y = -\sin^2 \theta + \sin \theta + 1$$

ここで、 $x = \sin \theta$  とすると、 $-1 \leq x \leq 1$

$$y = -x^2 + x + 1$$

$$= -(x^2 - x \quad \quad \quad) + 1$$



**問 1**

$0 \leq \theta < 2\pi$  のとき、 $y = \cos^2 \theta + \sin \theta$  の最大値と最小値、そのときの  $\theta$  の値を求めよ。

$$y = -\sin^2 \theta + \sin \theta + 1$$

ここで、 $x = \sin \theta$  とすると、 $-1 \leq x \leq 1$

$$y = -x^2 + x + 1$$

$$= -(x^2 - x + \frac{1}{4} - \frac{1}{4}) + 1$$





**問 1**

$0 \leq \theta < 2\pi$  のとき、 $y = \cos^2 \theta + \sin \theta$  の最大値と最小値、そのときの  $\theta$  の値を求めよ。

$$y = -\sin^2 \theta + \sin \theta + 1$$

ここで、 $x = \sin \theta$  とすると、 $-1 \leq x \leq 1$

$$\begin{aligned} y &= -x^2 + x + 1 \\ &= -(x^2 - x + \frac{1}{4} - \frac{1}{4}) + 1 \\ &= -(x^2 - x + \frac{1}{4}) + \frac{1}{4} + 1 \end{aligned}$$



**問 1**

$0 \leq \theta < 2\pi$  のとき、 $y = \cos^2 \theta + \sin \theta$  の最大値と最小値、そのときの  $\theta$  の値を求めよ。

$$y = -\sin^2 \theta + \sin \theta + 1$$

ここで、 $x = \sin \theta$  とすると、 $-1 \leq x \leq 1$

$$y = -x^2 + x + 1$$

$$= -(x^2 - x + \frac{1}{4} - \frac{1}{4}) + 1$$

$$= -(x^2 - x + \frac{1}{4}) + \frac{1}{4} + 1$$

$$= -(x - \frac{1}{2})^2 + \frac{5}{4}$$



**問 1**

$0 \leq \theta < 2\pi$  のとき、 $y = \cos^2 \theta + \sin \theta$  の最大値と最小値、そのときの  $\theta$  の値を求めよ。

$$y = -\sin^2 \theta + \sin \theta + 1$$

ここで、 $x = \sin \theta$  とすると、 $-1 \leq x \leq 1$

$$y = -x^2 + x + 1$$

$$= -(x^2 - x + \frac{1}{4} - \frac{1}{4}) + 1$$

$$= -(x^2 - x + \frac{1}{4}) + \frac{1}{4} + 1$$

$$= -(x - \frac{1}{2})^2 + \frac{5}{4}$$

頂点は  $(\frac{1}{2}, \frac{5}{4})$ 、上に凸の 2 次関数



**問 1**

$0 \leq \theta < 2\pi$  のとき、 $y = \cos^2 \theta + \sin \theta$  の最大値と最小値、そのときの  $\theta$  の値を求めよ。

$$y = -\sin^2 \theta + \sin \theta + 1$$

ここで、 $x = \sin \theta$  とすると、 $-1 \leq x \leq 1$

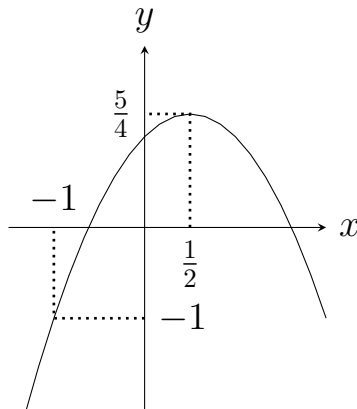
$$y = -x^2 + x + 1$$

$$= -(x^2 - x + \frac{1}{4} - \frac{1}{4}) + 1$$

$$= -(x^2 - x + \frac{1}{4}) + \frac{1}{4} + 1$$

$$= -(x - \frac{1}{2})^2 + \frac{5}{4}$$

頂点は  $(\frac{1}{2}, \frac{5}{4})$ 、上に凸の 2 次関数



**問 1**

$0 \leq \theta < 2\pi$  のとき、 $y = \cos^2 \theta + \sin \theta$  の最大値と最小値、そのときの  $\theta$  の値を求めよ。

$$y = -\sin^2 \theta + \sin \theta + 1$$

ここで、 $x = \sin \theta$  とすると、 $-1 \leq x \leq 1$

$$y = -x^2 + x + 1$$

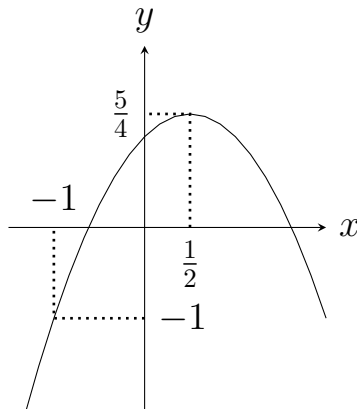
$$= -(x^2 - x + \frac{1}{4} - \frac{1}{4}) + 1$$

$$= -(x^2 - x + \frac{1}{4}) + \frac{1}{4} + 1$$

$$= -(x - \frac{1}{2})^2 + \frac{5}{4}$$

頂点は  $(\frac{1}{2}, \frac{5}{4})$ 、上に凸の 2 次関数

$-1 \leq x \leq 1$  の範囲においては、



**問 1**

$0 \leq \theta < 2\pi$  のとき、 $y = \cos^2 \theta + \sin \theta$  の最大値と最小値、そのときの  $\theta$  の値を求めよ。

$$y = -\sin^2 \theta + \sin \theta + 1$$

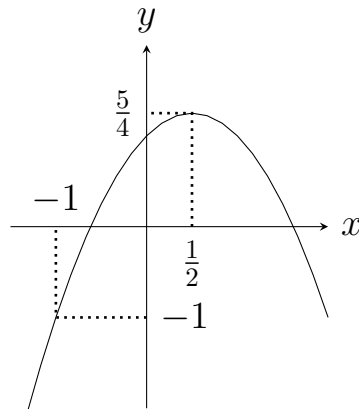
ここで、 $x = \sin \theta$  とすると、 $-1 \leq x \leq 1$

$$\begin{aligned} y &= -x^2 + x + 1 \\ &= -(x^2 - x + \frac{1}{4} - \frac{1}{4}) + 1 \\ &= -(x^2 - x + \frac{1}{4}) + \frac{1}{4} + 1 \\ &= -(x - \frac{1}{2})^2 + \frac{5}{4} \end{aligned}$$

頂点は  $(\frac{1}{2}, \frac{5}{4})$ 、上に凸の 2 次関数

$-1 \leq x \leq 1$  の範囲においては、

$$\begin{cases} x = \frac{1}{2} \text{ のとき、最大値 } \frac{5}{4} \\ x = -1 \text{ のとき、最小値 } -1 \end{cases}$$



**問 1**

$0 \leq \theta < 2\pi$  のとき、 $y = \cos^2 \theta + \sin \theta$  の最大値と最小値、そのときの  $\theta$  の値を求めよ。

$$y = -\sin^2 \theta + \sin \theta + 1$$

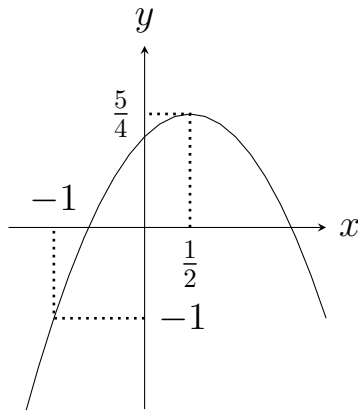
ここで、 $x = \sin \theta$  とすると、 $-1 \leq x \leq 1$

頂点は  $(\frac{1}{2}, \frac{5}{4})$ 、上に凸の 2 次関数

$-1 \leq x \leq 1$  の範囲においては、

$$\begin{cases} x = \frac{1}{2} \text{ のとき、最大値 } \frac{5}{4} \\ x = -1 \text{ のとき、最小値 } -1 \end{cases}$$

$$\sin \theta = \frac{1}{2} \rightarrow \theta = \frac{\pi}{6}, \frac{5\pi}{6}$$



**問 1**

$0 \leq \theta < 2\pi$  のとき、 $y = \cos^2 \theta + \sin \theta$  の最大値と最小値、そのときの  $\theta$  の値を求めよ。

$$y = -\sin^2 \theta + \sin \theta + 1$$

ここで、 $x = \sin \theta$  とすると、 $-1 \leq x \leq 1$

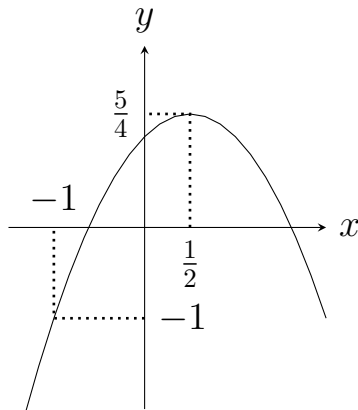
頂点は  $(\frac{1}{2}, \frac{5}{4})$ 、上に凸の 2 次関数

$-1 \leq x \leq 1$  の範囲においては、

$$\begin{cases} x = \frac{1}{2} \text{ のとき、最大値 } \frac{5}{4} \\ x = -1 \text{ のとき、最小値 } -1 \end{cases}$$

$$\sin \theta = \frac{1}{2} \rightarrow \theta = \frac{\pi}{6}, \frac{5}{6}\pi$$

$$\sin \theta = -1 \rightarrow \theta = \frac{3}{2}\pi$$





**問 1**

$0 \leq \theta < 2\pi$  のとき、 $y = \cos^2 \theta + \sin \theta$  の最大値と最小値、そのときの  $\theta$  の値を求めよ。

$$y = -\sin^2 \theta + \sin \theta + 1$$

ここで、 $x = \sin \theta$  とすると、 $-1 \leq x \leq 1$

頂点は  $(\frac{1}{2}, \frac{5}{4})$ 、上に凸の 2 次関数

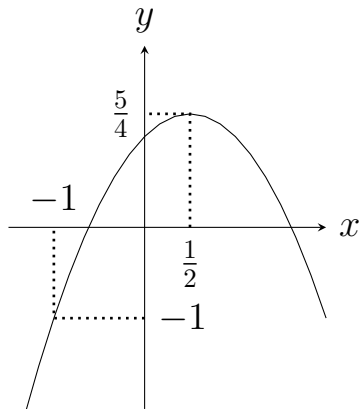
$-1 \leq x \leq 1$  の範囲においては、

$$\begin{cases} x = \frac{1}{2} \text{ のとき、最大値 } \frac{5}{4} \\ x = -1 \text{ のとき、最小値 } -1 \end{cases}$$

$$\sin \theta = \frac{1}{2} \rightarrow \theta = \frac{\pi}{6}, \frac{5}{6}\pi$$

$$\sin \theta = -1 \rightarrow \theta = \frac{3}{2}\pi$$

**答**  $\theta = \frac{\pi}{6}, \frac{5}{6}\pi$  のとき、最大値  $\frac{5}{4}$



**問 1**

$0 \leq \theta < 2\pi$  のとき、 $y = \cos^2 \theta + \sin \theta$  の最大値と最小値、そのときの  $\theta$  の値を求めよ。

$$y = -\sin^2 \theta + \sin \theta + 1$$

ここで、 $x = \sin \theta$  とすると、 $-1 \leq x \leq 1$

頂点は  $(\frac{1}{2}, \frac{5}{4})$ 、上に凸の 2 次関数

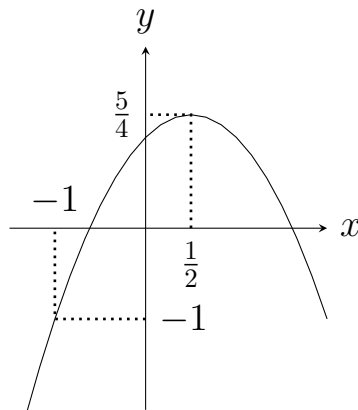
$-1 \leq x \leq 1$  の範囲においては、

$$\begin{cases} x = \frac{1}{2} \text{ のとき、最大値 } \frac{5}{4} \\ x = -1 \text{ のとき、最小値 } -1 \end{cases}$$

$$\sin \theta = \frac{1}{2} \rightarrow \theta = \frac{\pi}{6}, \frac{5}{6}\pi$$

$$\sin \theta = -1 \rightarrow \theta = \frac{3}{2}\pi$$

**答**  $\theta = \frac{\pi}{6}, \frac{5}{6}\pi$  のとき、最大値  $\frac{5}{4}$   
 $\theta = \frac{3}{2}\pi$  のとき、最小値  $-1$



# 今回の学習目標

## 三角関数を含む最大値・最小値

- $\sin \theta, \cos \theta$  のいずれかを  $x$  に置き換える。